

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、3月になりましたが、まだまだ寒い日が続きますね。暖冬かと思っていたら、大雪が降ったりと、なかなか体調管理が難しいですが、春はもうすぐですから何とかこの寒さを乗り切りましょう！

以外には、キッチン床部分や、窓台の大理石部分にもコート塗布しました。大理石の場合、コート処理後も限界がありまして、それは、石の表面に酸やアルカリの濃度の高



先日、静岡の浜松近くの現場に行ったときに、昼食は、折角、浜名湖も近いので、鰻にしようと思っていたのですが、所々に餃子の看板があるではないですか？看板に釣られて食べてみて解ったのですが、「浜松餃子」は宇都宮餃子と同じ程有名らしいのです。80店以上もの餃子店が軒を連ねているとの事。浜松に行ったら是非寄ってみてください。

もうすぐ小冊子完成します

会報誌の1月号にも書いた通り、メンテナンス向けの小冊子がもう少しで完成します。石材トラブル事例ベスト5（仮名）のようなタイトルで、よく問題になる石材トラブル事例を詳細に書き綴りましたので、どうぞお楽しみに！そこで、まず30冊を先行して印刷し、い

ろんな意見をお聞きして、改訂し増刷する予定ですので、この初版ものを読んでみたい方がいらしたら、ご連絡ください。完成後、無料贈呈いたします。（先着10名様分）



「大理石の水回り使用とコート」

新築現場では、洗面台や浴室に石材を使用する場合で、特に石種が大理石の時には、必ずというくらい、使用前の浸透性の吸収防止効果のあるコート剤塗布をお勧めしています。

大理石は、一見すると、緻密に見えますが、劣化や使用頻度による磨耗が激しく、特に、水周りの場合、早い時には、数ヶ月で表面が劣化（ツヤボケ・表層の荒れ）してきます。

そこでコートの浸透層によって水や汚れをシャットアウトして、できるだけ石目深くまで劣化するのを遅らせることが要です。

また、浴室は、湿気が高く、石が乾燥しにくくなるので、コートによる浸透層により石に水分が定着しなくなり、カビが発生しにくくなります。

今回の写真は、ある新築のマンションで、洗面カウンターと浴室の壁・床面に塗布しているところの写真ですが、それ

いものをこぼしたり、飛ばしたりすると、瞬間的に石自体が侵されてしまい、表面のツヤボケや侵食が起こるので注意が必要です。（石材は石灰岩から派生してできているのでどうしても表面が傷みやすく、また、硬度面でも弱い性質を持っていることを知識として入れておいて下さい）

中国製品塗布（石貼り前塗布）

最近主流になっている「製品塗布」の中国での工場塗布風景です。

日本での新築現場の石材は、ほとんどが中国の石材加工工場でカットされて輸送されてきますが、設計仕様で石貼り前塗布＝「製品塗布」の場合、中国で出荷前に塗布した方が、コスト削減にもなり、今では主流にな



っています。ただ、塗布剤を指定しても、見た目では判断出来ないため、このような管理体制がとても大事になります。

（編集後記）最近、娘がお笑いにはまっていて、たまに新宿ルミネに、ヨシモトのお笑いを見に行っているようです。今月、娘の友達の都合がつかない場合、付き添いで初ライブ観賞になるかもです。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有)ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp